
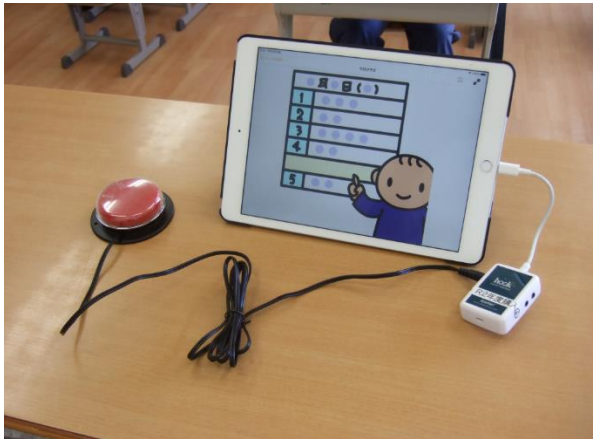


1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山県立岡山東支援学校	指導者名	長井 繁郁
実践場面 (教科名)	日常生活の指導 (自立活動)	単元・題材名	「朝の会の司会をしよう」
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の進行をすることができる。 (5 コミュニケーション) 		
対象生徒の実態	知的障害部門 高等部 1年		
	<ul style="list-style-type: none"> ・発語がない。 ・ジェスチャーをすることも難しい。 ・自分の思いや考えを周りの人に伝えることが難しい。 		
活用の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・クラスでは順番に日直を行っている。朝の会の司会のときは、「ぼいすぶっく」のアプリを使い、進行をしている。 ・進行表に従って、「健康観察」「今日の予定」「給食の献立」など、タブレット端末の画面を見ながら、スイッチを押し、進行をすることができる。 ・一人で操作をするのはまだ難しいが、教師と一緒にスイッチを押しながら、朝の会の進行をすることができるようになってきている。 ・今後は、タブレットの画面をモニター等に映し、他の生徒にも見ることができるようになりたい。 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p style="margin: 0;">朝の会 進行表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 貴重品集め 3. 健康観察 4. 今日の予定 5. 献立発表 6. 先生の話 7. 歌 8. あいさつ </div>			
			
(写真1) タブレット端末を操作する様子		(写真2) 機器の構成	
成果や活用のポイント ・ 課題、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを使うことで、操作がしやすい。 ・アプリ「ぼいすぶっく」は、自分が好きなように進行表を作ることができる。 ・日常生活でのコミュニケーション支援アプリとしての活用が考えられる。 		